

2019年度 予算の主要事業

医療と福祉の充実

健康で活力に満ちた社会をつくるため、皆さんの健康づくりの支援や医療体制の充実を図ります。また、全ての人々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築・強化や障害のある方への支援を強化します。

健康づくり・医療体制を充実します

受動喫煙対策

受動喫煙防止に向けた周知・啓発や、小規模飲食店の屋内禁煙化へ助成（上限10万円）

風しん抗体検査 ④

対象者を拡大（妊娠を希望する女性などの同居家族や1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性を追加）

MRワクチン予防接種助成 ④

風しんの抗体価が低い方への予防接種を無料化（3,000円→無料）

救急医療確保対策 ④

夜間内科二次医療機関の待機病床数を拡充（2床/日→4床/日）

特定不妊治療費助成 ④

男性不妊治療（初回）の助成額引き上げ（上限15万円→30万円）

地域包括ケアシステムを構築・強化します

あんしんケアセンターの充実 ④⑤

専門職員を増員（141人→143人）

認知症初期集中支援チームの増設 ④⑤

認知症の初期支援を集中的・包括的に行うチームを増設（4チーム→5チーム）

障害のある方への支援を強化します

地域生活支援拠点整備 ④

障害のある方への支援体制を構築するため、地域生活支援拠点を増設（1カ所→2カ所）

施設受入体制の強化 ④⑤

療育相談所や桜木園の専門職員を増員（5人→9人）



専門的なスタッフが対応してくれると安心！



子育て支援・教育の充実

子どもを産み育てやすい環境をつくるため、引き続き待機児童対策を進めるほか、幼児教育・保育や産後における経済的負担を軽減します。また、未来を担う子どもたちの教育環境の充実や、子どもたちが抱えるさまざまな悩みや問題への支援を強化します。

待機児童を解消します

民間保育園などの保育施設、子どもルームの整備 ④

保育施設33カ所、子どもルーム2カ所を整備

施設利用時などの負担を軽減します

幼児教育・保育の無償化 ⑤

消費税引き上げによる財源を活用し、10月から幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料を原則無償化（3～5歳児などが対象）

産後ケア ④

利用者自己負担上限額の引き下げ（施設型7,500円/日→6,000円/日、訪問型3,600円/日→2,400円/日）

教育環境の向上を図ります

学校施設の環境整備

小中学校普通教室への冷暖房設備設置や、老朽化した外壁やトイレなどの改修を推進

子どもたちへの支援を強化します

スクールカウンセラー活用 ④⑤

いじめや不登校に対応するカウンセラーを、全小・中・特別支援学校に配置

帰国・外国人児童生徒教育の充実 ④⑤

帰国・外国人児童生徒の日本語習得を支援するため、外国人児童生徒指導協力員を増員（11人→13人）するとともに、日本語指導通級教室を増設（1カ所→2カ所）

カウンセラーの先生に相談したら、気持ちがすっきり軽くなったよ



避難所の開設・運営

防災・安全対策の推進

災害発生に備え、防災情報の一元管理や総合的な情報提供に向けて取り組みます。

また、避難所の開設・運営支援やゲリラ豪雨などへの浸水対策を進めます。

防災・減災対策を進めます

総合防災情報システムの構築 ⑤

防災情報を一元的に管理する総合防災情報システムの整備に向けた基本設計に着手（2023年度供用開始）

地震・風水害ハザードマップ作成

各種ハザードマップを統合するとともに、新たな防災情報を追加したWEB版ハザードマップを作成

避難所開設・運営動画制作 ⑤

災害発生時における避難所の開設・運営の手順を分かりやすく解説する動画を制作

浸水対策の推進

JR千葉駅東口など重点地区の浸水対策を強化するとともに、浸水被害発生箇所雨水管などを整備